

日時: 7月25日(土) 13:30~16:30
(開場 13:00)

会場: **イーブルなごや ホール**
(地下鉄名城線「東別院」駅より東へ徒歩約8分)

※ 入場無料 (非会員も参加歓迎)

自民・維新政権が推し進めるスパイ防止法制の第一弾としての「国家情報会議設置法」。国民の人権を侵害する恐れが指摘されているにもかかわらず、十分な国会審議もないままです。「組織法であって、各機関の権限を拡大するものではないから大丈夫」などというのは本当なのでしょうか？

日本の近現代史を研究され、『それでも日本人は「戦争」を選んだ』という著書もある加藤陽子東大名誉教授をお招きして記念講演と総会を開催します。何が今この国で進んでいるのか、どこへ向かうのかを考えるためにも、是非、ご参加ください。

第1部 記念講演 (13:30~)

「スパイ防止法がもたらすもの ~日本は再び戦争に向かうのか~」



講師: **加藤陽子さん**
(東京大学名誉教授)

【加藤陽子さんプロフィール】

1960年埼玉県大宮(現さいたま)市生まれ、東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了(文学博士)、山梨大学、米スタンフォード大学フーバー研究所などを経て1994年より東京大学文学部、2009年教授、2026年定年退職。

専攻は日本近現代史。著書『それでも日本人は「戦争」を選んだ』(朝日出版社)で小林秀雄賞受賞、2020年の政府による、自身の日本学術会議会員拒否に関する共著など、著書多数。

第2部 総会 (15:30 開始予定~)

今後の重点的な活動方針、予算、役員体制等

秘密法と共謀罪に反対する愛知の会

連絡先: 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-18-22 名古屋第一法律事務所気付(中川)

Email: no_himitsu@yahoo.co.jp

Blog: <https://nohimityu.exblog.jp/>

